

# NPO Kyoken 通信 120号

発行日 平成27年11月25日 / 発行者 特定非営利活動法人 教育研究所

## 本部（横浜事務所）

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20

TEL: 045-848-3761 | FAX: 045-848-3742

Email: [contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org) | URL: <http://kyoken.org/>

## 宇奈月自立塾

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉 5509-16

TEL: 0765-62-9681

FAX: 0765-62-1120

## にいかわ若者サポートステーション

〒938-0037 黒部市新牧野 103 ファーストビル 3F

TEL: 0765-57-2446 | FAX: 0765-57-2447

Email: [contact@nsapo.org](mailto:contact@nsapo.org)

URL: <http://nsapo.org/>

11月下旬になると宇奈月はすでに初冬です。雪がいつ落ちてきてもおかしくない天気になってきました。

思い出せば、2005年10月に若者力再生、NEET対策の切り札として、国の肝いりで、全国20箇所、民間依頼を受けた「若者自立塾」が開設されました。

その年の12月3日大雪が降り、公共交通機関は止まり、新潟から京都まで通じる国道8号線は一部閉鎖に迫いやられました。正直、豪雪の中えらい所に来たなど寮長共々思いました。

あれから、早いもので10年が経過しました。

こちらの地方では、他の場所から移り住んだひとを「旅のひと」と呼ぶらしいのですが、もう違ふのかなと思ひ、25年以上も前に富山に来た人に尋ねると、「僕もまだ旅のひと」と言われているというから、私の場合は、一生旅のひとで終わるのだと思います。

雪は白い悪魔と呼ぶ、塾生もいましたが、雪を敵に回さず、楽しんでやれという思いで今年は過ごしたいと思ひます。

皆さんも冬の宇奈月温泉においで下さい。

北陸新幹線開通した北陸の年ですから、春に開通する「北海道新幹線」「長崎新幹線」にバトンタッチするまで、嫌々、バトンを渡した後も地域の皆さんと頑張りたいたいと思ひます。

## 労働観をどう醸成するのか（1）

NPO 法人教育研究所 理事長・教育コンサルタント 牟田武生

10 年前に旗揚げした、政府の若者支援上手くいっていないのが、実感である。

雇用統計を見ても、非正規社員数 4 割、NEET 数、ひきこもり数は微増している。

この十年、バブル経済の崩壊後のデフレ不況、工場の海外移転による雇用の喪失と産業の空洞化、リーマンショック等の経済的な要因も大きいですが、若者達の意識構造も大きく変化してきたような気がする。

労働観のない若者、なぜ、働かなくてはならないのか素朴に疑問を感じる若者、休みを充分に取らずに、働き続ける親たちを見て育ったためなのか、ブラック企業のイメージがあるのか、働くことを否定的に考える若者さえも、この 10 年間で現れた。

そんな若者に「何がしたいのか」問うと、

「自分の好きなこと、ネットゲームとか、ユーチューブで動画観たり、SNS やフェースブックで仲間とチャットしたり、別に外出しなくても、楽しいことがたくさんある。

勿論、住む家もある、めしも食える、エアコンもあり、いつでも快適、風呂はいつでも入れる、部屋にはパソコンがありインターネットは使い放題、洗濯は親がしてくれる、家を出て行かなければ天国のような世界、何で働く必要があるのか」と逆に問いを発する。

「家も含め、全部親のものでしょ、君のものでなく、親のものなんだよ、親に食べさせてもらっているんでしょ」

「それが何で悪いの？小さい時からそうだったから何も特別なことでないよ」

「小さい時は仕方がないが、成人、いや 18 歳かもしれないが、大人になったら、自分で稼ぎ、自活するのが普通だと思うけどな!」

「それは一般論、自分は働きたくても、働けないのです。リアルの世界では、いじめられたことが過去にあって、それが原因かもしれないけど、他人が怖いから、人間関係が出来ない。これ以上、自分が傷つきたくないと思うと、外出できないし、無気力になって行くんです。」

「無気力って、気力がなくなるから、何にもできなくなるのではないの？ネットゲームやチャット、動画など、毎日やってるよね、気力あるじゃないの？」

「なにも、それは気力があってやっているのではないですよ、なにもやることないし、時間つぶしとやれば、面白いからやっているだけですよ」

「ちなみに、一日ネット何時間位やっているの？」

「ほぼ、一日中ですね。ネットがなかった時代は、外に(リアルの世界)に行かないと楽しめないけど、今は家の中でも楽しめるし、仲間もたくさんいるから孤独でないですよ」

「でも、生活費は全て親が出しているんでしょ」

「家に居て、外出しないから交通費も飲食代もかからないからたいした額でないですし、仲間もみんな同じ生活していますからね」

「それは、大きなお金ではないかもしれないけど、年金や健康保険料も親が払っているんでしょ」  
「・・・」

「働く気はありません。・・・障害者年金をもらおうとしています。うつなら出るみたいです。医者との問答集もネットに載っていて、それで、成功し、年金を勝ち取った仲間もいますから大丈夫です」「憧れは、祖父母のように年金暮らしです」

「祖父母、それは違うでしょ、お爺さんやお婆さんは、ずーっと働き、年金を積み上げたからもらえるのです。君の場合はうつでもないし、自分で国民年金を支払ってきた訳でもないですし、資格がありません」

「資格なくても、僕は日本国民であり、生存権があり、健康で文化的な最低限度の保証が国民はさ  
れているはずですよ」

「そのためには、権利と義務があり、国民の3代義務の勤労義務を君は果たしてません」

「働く人は生産者、それだけでは、経済活動は回りません。偉大な消費者があるから、生産者の意味があります。私は生産者には向きませんが、自分では偉大な消費者で健全なる社会の立役者で、有益たる市民だと思っています」

「経済のことよく知っているね」

「経営学部中退です」

つづく

## 当事者および家族の会

### 全国KHJひきこもり家族連合会 横浜ばらの会（仮称）準備会

準備会代表 鈴木恵美子

## ●目的

- 当事者の居場所づくり
- 当事者の社会的自立に向けての支援事業
- 家族の方の勉強会

生活困窮者自立支援法とフリースクール助成を見据えて活動を行っていきます。

## ●次回集まり

- 日時：2016年1月24日（日）14時～16時
- 場所：NPO法人教育研究所 横浜事務所
- 問い合わせ先：鈴木恵美子様  
にメールで [emi-zu.suzu\[at\]docomo.ne.jp](mailto:emi-zu.suzu@docomo.ne.jp)  
( [at]を@に置き換えてお送りください )

## 宇奈月自立塾開塾 10 年を経て～寮長の個人記～ 共育編

宇奈月自立塾 寮長 牟田光生

開所のドタバタ劇が終わり、06年大雪の1月には我々側(自立塾)も色々と地に足が着き、落ち着いて訓練自体を行えるようになって来ました。

いくつか要因はありますが、寮生活の意義を自分自身で再確認したのが非常に大きかったです。わたくし自身のプライベートごちゃごちゃの整理がついた後(開業編参考)、1通の手紙を書きました。高知にある明德義塾時代の恩師吉田順一先生です。先生は明德義塾を作った創始者の弟で、高校時代非常にお世話になった先生です。

なにか、特別な言葉を頂いたわけではありませんが、「先生への手紙を書く」という作業が自分の中でどうしたらよいか?をまとめるきっかけになったと思います。勿論先生から激励の手紙とお電話を頂き、今でも大変な有難さを感じております。

その原点は「共育」です。同じように寮生と朝起き、準備をし、研修を行い、就労体験も行い、苦しみ、悩み、笑い、喜び...と一緒に共有し、塾生達も私自身も自分自身を見つめなおし成長のきっかけにするというシンプルなことでした。それにより人間関係等の地盤固めができ、対人関係の苦手な塾生達も人を信じ、信頼し、自分の立ち位置や状況を客観的に見られるようになり、成長・確認・再生に繋がっていきます。

人を信じられない人間が自分だけを信じる(自信)ことは、心底出来ないものです。如何に理論武装したり、怒りや泣くと言った感情で誤魔化し逃げようとします。それらが他人同士の共同生活では通じません。他人同士が仲間同士になったときに、そういったひきこもりの最後の埃というか澱というか...が、剥がれ落ち、まっさらになり、自信を持てる状態になっていきます。

初期自立塾を泊まり込みで取材し、地元TV局の取材の中でも写されているシーンの中に、夜、懇親会をしながら人生の悩みを皆で共有し皆で考え、皆で頑張り成長を遂げるシーンがいくつかあります。

「若者自立塾」は厚労省の管轄ですし、就労等の数値が求められますが、大事なのは泥臭い現場での共育であり学び育ち合いです。

土台が無いと家が立たないように、それらをすっ飛ばして就労と言う風にはいきません。

人間の土台を築き、それから就労です。

共に育ち、支援者と寮生との関係ではなく、一緒に共に育っていく「仲間」を作っていくという姿勢により、人は本音で成長し人同士の繋がりからモラルが形成され道徳心が養われていきます。そういうことが出来るのが意識を持った共同生活であり、若者自立塾「宇奈月寮」の今後の有るべき姿だと、実感と確信を持ち始めたのが、雪深い6年初頭～1年位かけてでした。 つづく

## 大人の青春…

宇奈月自立塾 A 君

ニート(ひきこもり)になる前も、暑く燃えたぎるなんて、白い目で見ていた。  
体育系の奴等の暑苦しさ、オーバーな感情表現、白々しい友人関係と思慮や遠慮の無さ、  
自分とは次元の違う趣味の悪い奴等だと、思っていた。

しかし

ニート甲子園、暑く熱く厚く!

自分の体が壊れるまで全力を尽くした。

二十歳を超えて真剣に白球を追いかけるとは思わなかった。

負けた時の悔しさと後悔、勝った時の誇らしさと、勝利の興奮、

打席では緊張したが、緊張が心地よいと思えたのは人生初めてだった

自軍のチャンスに本気で他人を心の底から応援したのも、今までの人生、記憶にない。

なにより、

スタッフが普段の何倍も、真剣(マジ)だ!

そして、やれるなら 2016 春もう一度あの舞台に立ちたい。

出来るなら、1 度で良いからフルスイングの後、大歓声の中グラウンドをゆっくり 1 周回りたい。

自分には関係ない、ダサいとさえ思っていた事が、案外クセになる。

※ニート甲子園

今年で第 7 回目のソフトボール大会(宇奈月自立塾主催)、春 4 月秋 10 月の年 2 回開催。1 回の平均  
大会参加団体約 10 団体 100 名を超える人数が参加。大阪・東京・愛知からも毎回参加の全国規模の  
大会です。

## 卒業生作文

宇奈月自立塾 卒業生 T さん

5 月にここに来て、まず最初に取り組んだのは環境への適応でした。

初めて親元を離れ、見知らぬ人達との集団生活。

長い間、ひきこもり状態にあった自分には辛いものでした。

幸い A さんがいてくれたり、B さんが気にかけて下さったおかげで少しずつ集団生活にも慣れてい  
きました。3 人部屋になってからは余り気の休まる時はありませんでしたが、良い経験が出来たと  
感じております。

ここでの一番の楽しみは、やはりソフトボールでした。最初、僕は野球を見ているので、その知識  
を生かしてプレーできればと思っていましたが、その結果は酷いものでした。

打てないし守れない。体はそこそこ動けましたが、技術が全くない。  
なんとか上手くなれないかと思いながらプレーしていましたが、そこに C さんが入ってきました。  
野球経験が有るだけあって打撃も守備も非常に上手かった。  
彼の技術に追いつこうと彼のマネをして壁当てをしてみると、これが存外に面白く、この辺りで守備に重きを置くようになりました。  
彼とのキャッチボールも楽しく、勉強になりました。  
ただ、ソフトボール大会に向け、自主練を続けていたところ、腰を痛めてしまい、肝心の大会ではエラー連発で良い所無しだったのが無念でした。もう少しまともなプレーがしたかったのですが、大会自体は楽しめました。  
就労体験はホテル・フィールドでの体験が一番大変でした。数回しか行ってないですし、お客さんの案内も大してこなした訳ではないですが、その他の就労体験先等と違って接客をするのは大変緊張しました。フロントでは案内中に嘔んでしまったり、浴場ではお客さんに話しかけられても変な受け答えになってしまったり、散々でした。  
本当は接客はやりたくなかったのですが、仕事をしていれば見知らぬ人と話す機会は沢山あるだろうと練習のつもりで頑張っておりました。  
結果的に、少しですが自信がついたのでやってよかったと思います。  
思えば長いようで短い5ヶ月半でした。  
ここまで何かに懸命に取り組んだのは久しぶりで、とても実りのある時間だったと思います。  
1ヵ月間地元に戻って頑張ってきます。  
有難う御座いました。就職が決まらず、こちらに戻るような事があれば、またよろしくおねがいします。

2015年10月

## ■ コラム

NPO 法人教育研究所の関連施設である、にいかわ地域若者サポートステーションの就労決定率が、非常に高く、常にトップクラスを保っている。  
その秘密は、スタッフの頑張りにもよるし、地域の有効求人率が高いのも大いに関係しているが、その第一の理由は、宇奈月自立塾の存在だと思う。  
相談や関連事業だけでは、今の若者の社会性としてのコミュニケーション能力や人間関係力を十分に身に付けられない。さらには、昼夜逆転の生活リズム、体力の低下、肥満、成人病予備軍など、数々の問題を抱えている。  
まして、労働観などを醸成させることなんってできないことだと思う。  
学校教育、地域社会、家庭教育、精神医療等のツケが、今風の若者を作り出している。  
環境を変え、原点から生活を通して、変えていく努力をしなければ、どうにもならない。  
心理学のスキルを学んだだけのカウンセラーの相談だけで、若者の意識や考え方を変えることができれば、社会問題にはならなかったはずである。  
他人との生活を通して変える、超変革をしないと何も変わらず、青春の時間だけが消費していく、行く先は長期化したひきこもりと家族の生活困窮だけであると思う。  
やはり、宿泊型が原点であり、その中に相談事業があると感じる。

# 冬期短期合宿開催

## ●ねらい：社会参加を目指します

- 宿泊体験を通じて生活リズムの改善を行います
- 炊事・洗濯などの基本的な生活感を身につけます
- 様々な年齢層と共同生活することでコミュニケーション力を育てます

## ●日程

- 12月21日（月）～12月25日（金）

## ●実施場所

- 宇奈月自立塾（富山県黒部市宇奈月温泉）

## ●費用

- 28,000円（宿泊費、食費、のとじま水族館入館料、など込み）
  - ◆ 20日（日）から前泊できます。この場合、費用に4,000円加算されます。

## ●スケジュール

日付	午前	午後	夜
21日(月)	入所	入所 オリエンテーション 運動 (バスケ・バレー)	ミーティング
22日(火)	クリスマス会 (買い出し)	クリスマス会 (準備)	クリスマス会
23日(水)	のとじま水族館		
24日(木)	清掃	運動	
25日(金)	富山市内観光		解散

## ●申し込み

- 下記の項目をFAX、電話、メール、のいずれかでお申し込みください。
  - ◆ 「本人氏名」「住所」「連絡先（電話番号、メール）」
  - ◆ 本人が未成年の場合、「保護者氏名」も併せてお伝えください。
- 電話 : 0765-62-9681
- FAX : 0765-62-1120
- メール : [contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org)

# 牟田武生理事長のプログラム等のご案内

## ◆ カウンセリング

横浜では土、日を中心に行っております。要予約、電話またはメールでお問い合わせください。

1時間 15,000円（会員 10,000円）、1時間半 18,000円（会員 13,000円）。

富山では月1回、宇奈月自立塾（宇奈月温泉）で行っております。料金は横浜と同じです。

また、全国各地で行われる講演や研修の際に不定期に行っております。

メール相談は会員のみ。原則無料ですが、ご寄付お願いいたします。

詳しくはお問い合わせください。

## ◆ 講演

教育委員会・児童民生委員・親の会・私立学校連合会・PTA・福祉関係等、様々なところで研修・講演も行っております。また、マスコミ関係の研修・番組企画・企画相談等もやっております。研修会の企画立案、コーディネートもご相談ください。（有料）

## ◆ 留学&海外遊学・就労の会

## ◆ 価値観を変える海外旅行の会

### （自分探しの旅、認知行動療法の応用）

原則として、毎月第1日曜日午前10時～12時、横浜事務所で費用1回3,000円（平成28年4月より）

① 文化交流は価値観を変えるか ②具体的に留学や遊学とは、全て、要予約です。

予約は横浜事務所に電話でご連絡下さい。

勉強会は「講義」「情報交流会」「どう対応したら良いか」の構成で行います。

※参加希望者がそろえば、海外視察・遊学旅行も計画します。

予定としては、タイ、ハワイ、カナダ、韓国が候補に上がっています。

今まで、参加してくれた、ひきこもり当事者の方々は皆、よい社会勉強になった、人生観が少し変わった、それをきっかけに社会参加ができるようになった。また、機会があったら、参加したいと言います。その秘密は、カウンセリングルームで行う認知行動療法には限界があります。海外では、文化、宗教観、価値観、言語全て違い、長期ひきこもりによる感覚が遊離していても、身を守るために、緊張感を維持しなくてはなりません。その身を守る自然な行為によって、急速に認知のズレが修正されると考えています。さらに、アスペルガー等の発達障害を持つ人にも有効であることが分かってきました。ただ悩みは、最近、世界が平和でなくなって来ているから、あまり、危険がある国や地域にはいけないことです。



## ◆ ネット依存からの克服の会

原則として、毎月第1日曜日午後1時半～3時半、横浜事務所で費用1回3,000円。

①ネット依存とは何か ②ネットゲームに陥る心理 ③脱出するにはどうするか  
全て、要予約です。予約は横浜事務所に電話でご連絡下さい。

勉強会は「講義」「情報交流会」「どう対応したら良いか」の構成で行います。

## ◆ 宇奈月温泉で

カウンセリングやアウトリーチの他に、当事者・若者短期合宿を行います。

詳しくは宇奈月自立塾にお尋ねください。

ゲストルーム等あり、宿泊も可能です。(会員割引あり)

## ■ コラム

60代子育てを終えたボランティアの方からの投稿です。

宇奈月の塾生を2年間見て思います。凄いスピードで変わり良くなっていくんですね、お手伝いに行っていた自分が実は塾生に育てられていたと最近思います。

無償の愛と尊重があれば良くなるのに、母親は自分勝手と自分のために子育てするからやる気を無くすんですね。そして、母親がなんでも助けてあげるからできないことに遭遇したときに挫折するのです。

小さな子どもの時から親子でよく話し合うこと、親も弱みをみせて良いと思います。親も未熟な勉強中の人間です。一緒に成長していけば良いと思います。一生懸命だけを見せておけば大丈夫です。子育ては偉大なことですが孤独です。母親の孤独も子どもを無意識に追い詰めることにもなります。皆で励まし合い、未来を支える子ども達のために頑張りましょうね！

## 会費納入のお願い

NPO 法人教育研究所は、皆さまの会費を運営資金の一部に利用させていただいています。内訳は会員通信費 40%、寄付 60%です。年会費は1口 5,000円ですが、何口でも構いません。そして、年会費は会費をお支払いいただいた日から1年間有効です。継続を希望される方は、有効期限が切れる前に継続の会費を納めていただけるようお願いいたします。

- 横浜銀行 上永谷支店 (323) 普通 1442822  
名義 特定非営利活動法人教育研究所 理事長 牟田武生
- 郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

今年度から入金確認後、会員証を発行致します。

## 編集後記

「子どもの仕事は勉強することでしょ」の間違い  
就職活動をしないう者、労働訓練を受けようとしないう者、仕事に就いても短期間で辞めることを繰り返す者にどんな特徴があるかを調べてみた。  
一般的な人より高学歴である、  
アルバイトの経験が学生時代に殆どない、  
父親との係わりが希薄、  
気が弱く、神経質でどうでもよいと思われることにこだわり、そのことに振り回される  
日常生活場面で、親が先回りしてやってしまったためか経験や体験が少ない  
そのため、学習以外のことについては自信がなく、恥をかかされるのではないかと過剰に思い人間関係を極力避ける、その結果、ストレス耐性が非常に弱く、自律神経失調症になりやすく、体調の悪さを常に訴える。  
どうも、そんな若者が日本に増えている。もっと大規模調査をしっかりとまとめ教育界にそれを問いたいと思っている。(ム)

若者自立塾宇奈月寮(現 宇奈月自立塾)から10年経ちました。  
次の10年を考えていかなければなりません。自立塾の自立です。  
支援者であるだけでなく、仕事の創造も行っていかなければならないでしょう。  
まずは手始めに黒部市のいくつかの業務委託(清掃系)を受けておりますが、もっともっと広げ、地盤を作り自分たち、若者達と共働して仕事の創造をしていきたい。と考えております。皆様どうぞお力添えを下さい。(光)

宇奈月自立塾の宿泊体験と見学者が最近、多くなって来ている。自立塾へ予約の電話を入れれば、その体験はいつでもできます。当事者づれでも、親御さんだけでも、グループでも構いません。一度、体験なさっては如何でしょうか。お待ちしております。(スタッフ一同)

横浜事務所であらたな居場所、フリースクール、自立へ向けての新たな就労支援が始まろうとしています。そのテーマは「ノーペイ」社会システムを活用し、利用者は原則無料事業です。そのため、今、国内外で支援できるスタッフ(有給)やボラバイト(半有給)、ボラさん(無給)を募集しています。興味のある方は履歴書を郵送してください(ム)